

令和8年度東京学芸大学附属小金井中学校 教育研究協議会（二次案内）

「学び問い続ける」生徒の育成 —「自らの人生を舵取りする」ための主体化再考—

今年度も引き続き、ガート・ビースタ『世界中心の教育：現在へのまなざし』を参照点として、「主体化再考」を切り口に、「学び問い続ける」というテーマを深めている。「主体化再考」としたのは、本校の実践研究が「生徒を主体的にさせる方法」や「主体的な生徒の姿」を確定するものではないためである。

教師があらかじめ想定した姿を生徒が自発的に体現することではなく、「世界」との出会いの過程で、生徒の中に「私」が応答する可能性が開かれることを「主体化」と捉える。それは既成の教科の枠組みにおける思考や判断、表現を「中断・停止・保留」する営みに関わる。

今年度は以下の3点を実践研究の問いとし、教師が「主体化」に果たす役割を明らかにする。

- 【問い1】教師はどのような「世界」を生徒に指し示すか。その世界は教師と生徒にとってどのような未知を内包しているか。
- 【問い2】教科における知識・技能の習得（資格化）や、伝統・文化への方向づけ（社会化）は、生徒の「主体化」にどう寄与するか。教師は主体化の可能性をいかに開くのか。
- 【問い3】生徒は世界をどう受けとめ、どのような「問い」を創発させているか。それは「主体化のきざし」と言えるのか。

教育研究協議会では、上記三つの問いを軸として授業提案を行い、生徒が世界との関係性において既成の思考等を「中断・停止・保留」する姿を「学び問い続ける」過程の一端として見取ろうとする。そのうえで教科固有の視点と、教科を越える視点の双方から検討を加え、「学び問い続ける」生徒を育成するための教師の役割について参加者とともに協議したい。

令和8年11月21日（土）8：30～受付開始

受付開始		授業・研究主題説明		公開授業Ⅰ 社会 数学 理科 英語 道徳		授業・研究主題説明		公開授業Ⅱ 国語 社会 数学 理科 音楽 美術 技術・家庭 (家庭分野) 保健体育 英語		昼食		道徳協議会		教科別協議会 教科主題・協議会講師など 詳細は本校HPを ご覧下さい		移動		講演会 東京大学 名誉教授 白梅学園大学 学長、教授 小玉重夫先生		研究主題提案 本校研究部 東京学芸大学 教授 松尾直博 先生	
8:30	9:00	9:20	10:10	10:30	11:20	12:00	12:40	14:40	15:00	16:00	16:40										

参加費 無料

会場周辺は飲食店が限られるため、昼食のご用意をお願いいたします。

講演会講師紹介

小玉 重夫 先生（白梅学園大学学長・東京大学名誉教授）

専門分野 教育学、子ども学（キーワード：ポストヒューマニズム、シティズンシップ教育）
小玉重夫先生は、教育における人間と政治、社会との関係を思想研究によって問い直すことを研究テーマとされています。特に、ふだん自明のものとしてうけいれられている「教育」や「学校」を、歴史的・構造的な視点から相対化し、そのうえで、教育改革の筋道を追究していくことが、当面の研究課題とされています。具体的には、教育の公共性に関する思想研究（ハンナ・アレントの教育思想など）、公共性の担い手を育てるシティズンシップ（市民性）教育、政治的リテラシーの問題、教育政治学の構想、ポストヒューマンの視点からの教育学、子ども学の刷新など、幅広い研究に取り組まれています。

参加申込は
こちらから

